

<みんなの感想>

- 命は本当に大切なもので自分だけのものではないのだなと思いました。Aちゃんが生きてくれたから、もう一つの命を助けることができ、命をつなげるっていうのは、その人が生きていた証なんだと思いました。(Mさん)
- 「命」とはどういうものだろうということだけで、一人ひとりでたくさんの意見が出て、単純だけど、考えさせられるものがいっぱい出て考えさせられた。(Iくん)
- 私は、命について改めて学べた時間だったと思います。命は人と人をつなぐバトンであり、勝手にとぎれさせるのはダメだと思いました。人の気持ちとかで変えることができない。それが命であり、宿命だと思う。少し臓器提供について考えました。(Tさん)
- 最近自分の命を粗末にする人が多く、その人自身は「自分なんて…」と思っているかもしれないけど、もっと他の人がどれだけその人の命を大切にしているか知るべきだと思う。(Nくん)
- お父さんからの手紙ですごく大きな決断をして、Aちゃんのことを思いながらも、前向きに生きていこうとする様子が少しかがえるけど、お母さんからの手紙で現実の世界に目を向けると悲しくなった。自分だったら…というふうに考えられない領域だった。自分の知らない所でこんな物語があったことを知って、改めて命って本当に大切なものだなと思った。(Tさん)
- 「命とは何か？」急にそんなこと言われても、全然頭の中に浮かびませんでした。すぐに浮かばなかったのは、日々、命について自分が何も思っていないからだだと思います。ですが、今回の学習で命について、考えたおかげで少しは命について何かを思えたので、これを忘れないように、これからも生きていきたいです。(Yさん)
- 臓器提供をするということは、その人が本当に亡くなってしまったんだということを認めることになるし、お父さんもお母さんも、脳死でまだ体も温かいし、心臓も動いているAちゃんが亡くなってしまったということを認めることはすごくつらくて苦しいと思う。臓器提供って、命をつなぐ尊いものだと思うけど、その裏側の提供する側の家族の方は、愛しい人の、大切な人の死を認めて苦しい気持ちをもちながらも、自分たちではない、他の人の幸せや笑顔を願って提供するんだということがわかった。(Sさん)
- 生きてることが当たり前と思っていたけれど、「命」は、自分だけで成り立たず、周りが出て、親のおかげで、今ここで生きることができているんだと思いました。これから私は、たった1回きりの命なんだから後悔しないような人生をおくりたいと思いました。そのために、まずは当たり前だと思わず、物事に感謝しようと思います。(Yさん)
- いつも感じているけど、改めて「命」の重さを感じた。Aちゃんのお父さんとお母さんは自分の娘の命を自らの手で止めなければいけないから悩んだと思うけど、人の命を救いたい1人でも笑顔になってほしかった。だから、お父さんとお母さんはAちゃんと別れる決断をしたんだと思う。(Sくん)
- 命は何にも代えられない、大切なもの。軽々しく命に関わることは言ってはいけないと思った。なぜなら、その発言をしたときに、世界のどこかで「死にたくないのに…」、「必死に決断して悩んでいる人がたくさんいるから。(Kくん)
- もし、自分がAちゃんの親だったら、絶対に決めることができていると思う。生きているのに、自分たちの意志で心臓を止めてしまう。ずっと顔を見ていたいと思うし、Aちゃんの親はすごいと思った。命とは、答えのないものだと思います。(Sさん)
- 命というものは、誰にでもあるもので、でも、その人にしかないもので、なくしてはいけないものだと思いました。(Iさん)